

魚の形状から 生態を考える

1班

木村 櫻井 大橋 島田 阿部 金城

イントロダクション

- 魚にいろいろな形状があるのを見て、もしかしたら生息環境に何か関係してるのではないかと思い、このテーマにしました。

方法

- 鍋田湾のアマモ場にてトロール網による採集
- 魚の選別
- 種類の判断(図鑑)
- 考察

岩場の魚

ネコザメ



全長:31cm
鰭;9枚
背鰭に棘
体に暗色横帯

ゴンズイ



全長;11cm
鰭;6枚
腹鰭と背鰭に棘が3本
黄土色に明瞭な黄色縦帯

岩場の魚2

ヨウジウオ



全長;19cm

鰭;6枚

濃緑色

砂場の魚

マアナゴ



全長;33cm

鰭;3枚

暗色に白色点

クツワハゼ



全長;9cm

鰭;8枚

明瞭な暗色縦線

砂場2

サビハゼ



全長;8cm

鰭;8枚

白地に茶褐色の斑点

アマモ場

アミメハギ



全長;8cm

鰭;7枚

濃緑に白い斑点など

沿岸部

不明1



全長;5cm

鰭;8枚

背と目の周りが赤で
腹が銀

不明2



全長;8cm

鰭;8枚

全身銀色

考察

- 底にいるのは腹部が平ら
 - 泳ぐことが多いのは平たい体
 - 細長いのは穴にはいるため
 - 毒があるものは一般的に派手
 - ハゼは鰭が体に対して垂直で、目の位置が頭部によつてゐる
→砂地に潜り込むため
 - 鰭が少ないもの＝鰭がつながっているもの
→速く泳ぐ必要がない
- 例：ゴンスイ・・・毒を持っている且つ群れで生活しているため
個々で狙われることが少ないから
アナゴ・・・穴や砂場に潜っているため

感想

- 調べるのが大変だったけれど、魚が環境に応じて形態を変えているのを知ってビックリしました。
- 辞典などで調べていて、似たようなのからの判別が難しかったです。